

もやい結び

輪の大きさが変わらず、一定の大きさに保つことができる結び

方です。いろいろなバリエーションがありますのでまとめてみました。



基本のもやい

コードの長い方で輪を作り、短い方の端をその輪の中に入れます。その時、輪の長い方の端が下になっていた場合には下から短い端を入れ、長い端の下を通してまた輪の中に戻すようにします。



強化もやい

基本のもやいをさらにしっかり結ぶために、短い端をもう一度輪の中を通し、長い端のコードに沿わせて戻します。



巻きもやい

長い端で輪を作るとき、巻き結びのように二重の輪を作り、もやい結びとします。基本のもやいよりもさらにしっかり結ぶことができます。



カルミック・ループ

基本のもやいに引き解け結びの要素を加えた結び方です。最後に輪に通す短い端の部分と折り返しの形で差し込みます。